

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

|      |                                                                     |     |            |
|------|---------------------------------------------------------------------|-----|------------|
| お名前  | 鳩野明日香                                                               | 学校名 | 菊陽町立菊陽西小学校 |
| 実施学年 | 6 年                                                                 | 教 科 | 道徳         |
| 主題名  | かけがえのない命 【内容項目】 D(19)生命の尊さ<br>教材名：おじいちゃんとの約束 出典「きみがいちばんひかるとき(光村図書)」 |     |            |

### 《学びを深めたいポイント》

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目D(19)「生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。」を基にしたものである。

生命を大切にすることは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れと言える。高学年の児童は、生命はかけがえのない大切なものであることは理解しており、受け継がれる生命のつながりについても深く理解できるようになる。一方で、生命と向き合い、深く考える機会はまだ十分ではない。

だからこそ、命は大切なものだとは表面的に語るだけでなく、命を大切に生きるとはどういうことなのかを考えることを通して家族や仲間と共に生きるすばらしさに気づき、限りある命を精一杯生きようとする心情や態度を育てることを目指したい。

#### 【学びを深めるために】

##### ①主体的な学びを引き出す課題設定や問いの充実（発問の工夫）

○教材文を事前に読み、児童の心に残った場面や言葉をもとに学習課題や発問を設定することで主体的に学習に参加できるようにする。

##### ②振り返りの充実（板書の工夫）（明確な振り返りの視点）

○学習の振り返りでは、「振り返りの視点」を示し、学習と自分の生き方を重ねて考える手立てとする。

○本時の学習を通して考えた「精一杯生きるとはどういうことか」についての自分の考えを“幸せの宿題”として、家族に伝えることで、学びを家庭にも広げられるようにする。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

#### ◎思いや考えをつなぐ学び合いの充実（話し合い活動の充実）

①「命を大切に精一杯生きるとはどういうことか」に対する自分なりの考えを発表ノートに記入する。

②8人×5グループでグループワークを活用して、相互交流できるようにする。

その際、資料置き場に「共感」「新発見」「もっと知りたい」というリアクションスタンプ(画像)を用意する。児童は、友達の考えにリアクション(スタンプ)を返しながら交流する。

③グループワークをした友達と対話をして学びを深める。

教師は、「新発見の考えの友達の話を聞いて来て下さい。」等指示を出し、活動の意図を明確にした対話につなげていく。

④全体交流の際、児童は自分の考えを発表するだけでなく、自分と同じ考えや違う考えの友達の意見を踏まえて話すようにする。

※教師は「画面一覧」で、発表ノートを見ながら意図的指名につなげることができる。

# 《実践内容》

|     | 学習活動<br>◇児童の発言                                                                                                                                                                                                                                                                               | SKYMENU 活用場面                                                                                                                                                                                | 活用のポイント                                                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入  | 1 これまでの命に関する学びを振り返る。                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「おじいちゃんとの約束」を読んだ感想                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                              |
| 展開  | <p>2 信二の気持ちを通して、道徳的価値について考える。</p> <p>①信二の命に対する捉え方は変わった？</p> <p>②信二の「いかり」と「なみだ」のわけは何だろう。</p> <p>◇命の重さを理解してないように聞こえる芸人の発言への怒り。</p> <p>◇自分もその芸人と同じだったことへのいらだち。</p> <p>◇なんでおじいちゃんが死ななきゃいけないんだという怒りのような気持ち。</p> <p>◇おじいちゃんが死んでしまうかもしれないという寂しさ、悲しさ。</p> <p>3 教師の説話を聞く。</p> <p>4 学習のテーマについて考える。</p> | <p>読んだ感想は、最初は取り柄がないと思ってた信二だけどおじいちゃんが「私は私の人生」信二は信二の人生」という言葉で、信二の中で何が変わったのかなと思いました。そして、ゲームをするときは言葉遣いが荒かったけれど、テレビ番組のお笑いで言葉遣いが荒かった時、その言葉を簡単に使うべきではないと気づいたときの場面が心に残りました。</p> <p>事前に教材文を読んだ感想</p> | ・教材文を事前に読ませ、児童が感じたことを発表ノートに記入させておくことで、それぞれの考えを把握するとともに、課題設定や発問を考える際に有効活用できる。                                                                                 |
|     | <p>命を大切に精一杯生きるとは？</p> <p>①あなたにとって、命を大切に精一杯生きるとはどういうことでしょう。<br/>(発表ノート記入→友達の考えを読む→自由交流→全体交流)</p> <p>◇家族に感謝する。</p> <p>◇命に感謝して、家族を大切にする。</p> <p>◇自分を支えてくれている人のことを思って生きる。</p> <p>◇毎日を大切にする。</p> <p>◇人と比べないで自分らしく生きる。</p> <p>◇限りある命を最後まで精一杯生きる。</p> <p>◇一日一日を大切に後悔のないように生きる。</p>                  | <p>発表ノートに自分の考えを入力する児童</p> <p>グループワーク中のタブレット画面</p>                                                                                                                                           | <p>グループワークで友達の考えにリアクションスタンプを押す児童</p> <p>・グループワークで友達の考えを読む際、リアクションスタンプを押すことで、自分の考えと比較しながら意欲的に学びに参加することができる。また、自分の考えを持ってない児童や、発言するのが苦手な児童も全員学習に参加することができる。</p> |
| まとめ | <p>5 自分自身を振り返る。</p> <p>①今日の学習を振り返りましょう。<br/>(振り返りの視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習で考えたこと</li> <li>友達の考えを聞いて思ったこと</li> <li>これからどう生かしていきたいか</li> </ul>                                                                                                                     | <p>振り返り</p> <p>振り返りを記入した発表ノート</p>                                                                                                                                                           | ・振り返りを書き終えた児童から提出箱に提出し、友達の振り返りを読むことで学びを共有するとともにそれぞれのペースに合わせた活動ができる。                                                                                          |

## 《実践を振り返って》

「思いや考えをつなぐ学び合いの工夫」として、本時では、スカイメニュー発表ノートのグループワークの機能を活用した学び合いを行った。短い時間で、友達の多様な考えに触れることができるので、一人学びの時間だけでなく学び合いの時間を十分確保し、道徳的価値の理解を深めることにつなげることができた。

また、声に出して発表するのを苦手としている子ども達の考えを共有することができる、リアクションスタンプを押しながら友達の考えに触れることでその後の自由交流でもっと話したい友達の考えに気づくことができるという点もグループワークの大変良い点だと思った。